

2018年1月19日
東日本旅客鉄道株式会社
水戸支社

土浦駅ビルが体験型サイクリングリゾート「PLAYatré」として生まれ変わります！

～ 「りんりんスクエア土浦」誕生 ～

JR東日本グループは、お客さま・地域の皆さまのニーズに対応し、魅力あるサービス・機能を駅に集積することで、「駅を中心とした魅力あるまちづくり」を推進しています。

このたび、茨城県のサイクリングコース「つくば霞ヶ浦りんりんロード」の整備・利用促進の取組みの一環として、「りんりんスクエア土浦」をオープンします。このオープンに合わせ、駅ビルを「PLAYatré(プレイアトレ)」として全館リニューアルを順次行います。

1. 第一弾 サイクリング拠点「りんりんスクエア土浦」開業

開業時期：2018年3月29日(木)

事業主体：茨城県(指定管理者：(株)アトレ)

所在地：茨城県土浦市有明町1-30 土浦駅ビル B1F・1F

整備面積：B1F/約380㎡(約115坪)、1F/約580㎡(約175坪) 合計/約960㎡(約290坪)

整備内容：自転車販売、レンタサイクル、情報発信コーナー、修理・組立スペース、シャワー付き更衣室、レンタサイクル保管スペース、コインロッカー等



東京駅から特急で約50分

普通で約80分

上野駅から特急で約45分

普通で約70分

写真・パースは、全てイメージです。



2. 今後の展開

茨城県、土浦市、(株)アトレと連携し、駅・鉄道の強みを活かした情報発信を行ってまいります。今後、首都圏のサイクリスト向け団体臨時列車を都心から土浦までの運行を検討しております。

3. 土浦駅ビルのリニューアル概要

ペルチ土浦が、日本最大級の体験型サイクリングリゾート「PLAYatré(プレイアトレ)」として生まれ変わります。

新しいコンセプト・ターゲットのもと、サイクリングを中心としたアクティブなライフスタイルの提案によって「コト消費」を生み出す、単にモノを売ることに留まらない新たな駅ビル像の構築を目指しています。

2018年3月下旬には第一弾として、サイクリング拠点の開業に合わせて、B1F・1Fにサイクルカフェやコンビニ、ドラッグストア、エステをはじめとしたサービスゾーン、お客様用駐輪場をオープンします。

2019年秋以降のグランドオープンに向けて、レストランやサイクリングホテルなども続々オープン予定です。

今後の土浦駅ビルにどうぞご期待ください。

○コンセプト

PEDALING RESORT(ペダリング リゾート)

○ターゲット

サイクリスト(ビギナー～上級者)、観光客、地域住民

○スケジュール

第一弾 <<2018年3月29日>> B1F～1F【りんりんスクエア土浦、サイクルカフェ 等】

第二弾 <<2018年11月オープン予定>> 2F～3F(北ゾーン)【カフェ・レストラン 等】

第三弾 <<2019年5月オープン予定>> 2F(南ゾーン)【地産品ショップ 等】

第四弾 <<2019年秋以降オープン予定>> 3F(南ゾーン)・4F～5F【サイクリングホテル】

※現時点での計画であり、今後変更となる場合がございます

【フロアイメージ】



【1階：サイクルカフェ】



パースはイメージです。